

投資決定のプロセス

84 投資決定のプロセス (Capital Budgeting) において、最初に行うこととして、適切なものはどれか。

- a) 投資プロジェクトの目的が戦略に合致するように調整する
- b) 複数の仮定を設定する
- c) 投資プロジェクトのキャッシュ・フローを予測する
- d) 選定した評価法を適用し、リスクを分析する

85 投資決定のプロセス (Capital Budgeting) において予測するキャッシュ・フローは、関連性のある (Relevant) キャッシュ・フローでなければならない。関連性のあるキャッシュ・フローの予測において、適切でないものはどれか。

- a) 「埋没原価 (Sunk Cost) 」を無視する
- b) 「機会原価 (Opportunity Cost) 」を含める
- c) 投資プロジェクトによって発生する「運転資本 (Working Capital) の増加・減少」を含める
- d) 「インフレーション (Inflation) の影響」はキャッシュ・フローに反映させない

27 CF予測 27.1 キャッシュ・フロー予測の特徴 正解：a

投資決定のプロセス (Capital Budgeting) は、キャッシュ・フローのリターンが投資時点から1年の期間を超えて発生する投資プロジェクトを識別し、分析し、選択するプロセスである。資本予算で承認された予算金額枠の枠内で実行できることを前提に、投資決定のプロセスは実施される。投資決定のプロセスにおいて最初に行うことは、企業の戦略と方向性が一致している投資プロジェクトに関する提案を作成することである。

したがって、正解は (a) となる。

27 CF予測 27.1 キャッシュ・フロー予測の特徴 正解：d

関連性のあるキャッシュ・フローを予測するには、予測キャッシュ・フローから埋没原価を無視し、機会原価を含め、投資プロジェクトによって発生する運転資本 (売掛金、棚卸資産、買掛金) の増加・減少を含め、インフレーションの影響を反映させることが必要である。

したがって、正解は (d) となる。